(12)特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2002 年12 月27 日 (27.12.2002)

PCT

(10) 国際公開番号
WO 02/102906 A1

(51) 国際特許分類[7]: C09D 11/00, B41M 5/00, B41J 2/01

(21) 国際出願番号: PCT/JP02/06123

(22) 国際出願日: 2002 年6 月19 日 (19.06.2002)

(25) 国際出願の言語: 日本語

(26) 国際公開の言語: 日本語

(30) 優先権データ:
特願2001-185111 2001 年6 月19 日 (19.06.2001) JP

(71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 株式会社リコー (RICOH COMPANY, LTD.) [JP/JP]; 〒143-8555 東京都 大田区 中馬込１丁目３番６号 Tokyo (JP).

(72) 発明者; および
(75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 永井 希世文 (NAGAI,Kiyofumi) [JP/JP]; 〒143-8555 東京都 大田区 中馬込１丁目３番６号 株式会社リコー内 Tokyo (JP).

(74) 代理人: 池浦 敏明 (IKEURA,Toshiaki); 〒151-0053 東京都 渋谷区代々木 １丁目５８番１０号 第一西脇ビル１１３号 Tokyo (JP).

(81) 指定国 (国内): CA, CN, KR, MX, SG, US.

(84) 指定国 (広域): ヨーロッパ特許 (AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE, TR).

添付公開書類:
— 国際調査報告書

[続葉有]

(54) Title: INK JET RECORDING INK SET

(54) 発明の名称: インクジェット記録用インクセット

(57) Abstract: An ink set for ink jet recording which forms a color image by overlaying at least two different-hue water-color inks, and which permits a high-speed printing to form a clear color image free from bleeding at the interface between the two colors and excellent in resolution; a method of performing a ink jet recording using the ink set; and an ink cartridge and device. The ink set is characterized in that one ink A out of at least two different-hue water-color inks A, B contains an anionic group-introduced coloring material A, and the other ink B contains a coloring material B and a quaternary ammonium salt having a 1-6C alkyl group into which at least one hydroxyl group is introduced.

(57) 要約:

カラー画像を形成するために少なくとも２つの異なる色相の水性インクを重ねて画像を形成するインクジェット記録方法に用いるインクセットにおいて、高速印字で形成したカラー画像における２つの色の境界に滲みがなく、解像度のよい鮮明なカラー画像を与えるインクジェット記録用インクセットについて記載され、さらに、該インクセットを用いてインクジェット記録を行うための方法、インクカートリッジ及び装置について記載されている。

該インクセットは、少なくとも２つの異なる色相の水性インクＡ、Ｂのうち１つのインクＡがアニオン性基が導入された色材Ａを含み、他のインクＢが色材Ｂとともに少なくとも一つの水酸基が導入された炭素数６以下のアルキル基を有する第４級アンモニウム塩を含有することを特徴とする。

WO 02/102906 A1

— 請求の範囲の補正の期限前の公開であり、補正書受領 の際には再公開される。

２文字コード及び他の略語については、定期発行される各*PCT*ガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。